

## 七尾大田火力発電所2号機 木質バイオマス混焼発電の開始について

平成22年9月1日  
北陸電力株式会社

当社は、七尾大田火力発電所2号機（石川県七尾市大田町）において、石炭の一部を木質バイオマス<sup>\*</sup>で代替し、混合燃焼して発電する「木質バイオマス混焼発電」を、本日（9月1日）から開始しましたのでお知らせいたします。

### 【混焼発電の概要】

- （1）対象設備 ; 七尾大田火力発電所2号機(出力70万kW)
- （2）木質バイオマス利用量 ; 約2万トン/年程度
- （3）木質バイオマスの種類 ; 製材過程等から発生する樹皮や木屑(建設廃材は除く)
- （4）バイオマス発電電力量 ; 約1.7百万kWh/年程度
- （5）CO<sub>2</sub>削減量 ; 約1.4万トン-CO<sub>2</sub>/年程度

当社は、低炭素社会実現に向けた電気事業者としての社会的責務を果たすため、原子力発電所の安全・安定運転を基本に、水力や太陽光、風力、木質バイオマス混焼発電などの再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでいます。

木質バイオマス混焼発電については、既に敦賀火力発電所2号機において平成19年6月に導入していますが、七尾大田火力発電所2号機においても導入することとし、これまで混焼発電に必要な設備の建設工事、試運転調整を進めてきました。（平成20年10月31日お知らせ済み）

このたび、運転開始に必要なすべての試験および検査が終了したことから、本日より木質バイオマス混焼発電を開始しました。

当社は、今後とも志賀原子力発電所の安全・安定運転を基本に、再生可能エネルギーの導入拡大やヒートポンプを中心とする高効率な空調・給湯システムの普及を進めるなど、低炭素社会の実現に積極的に取り組んでまいります。

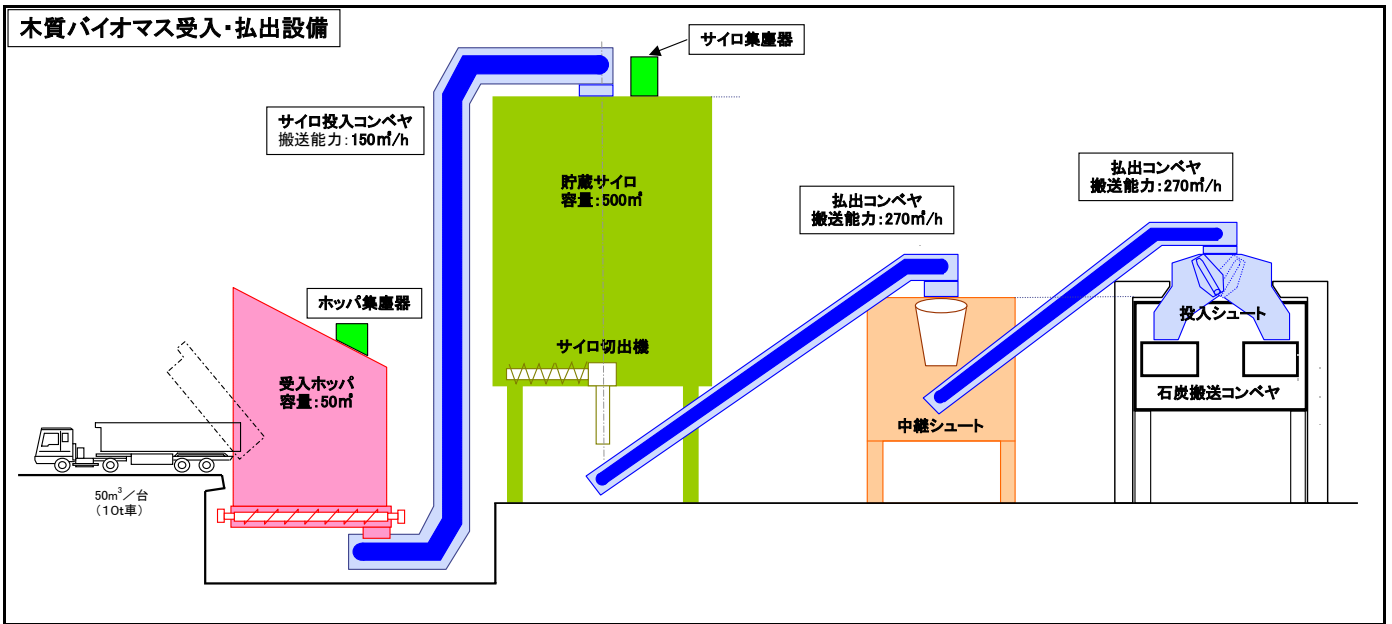
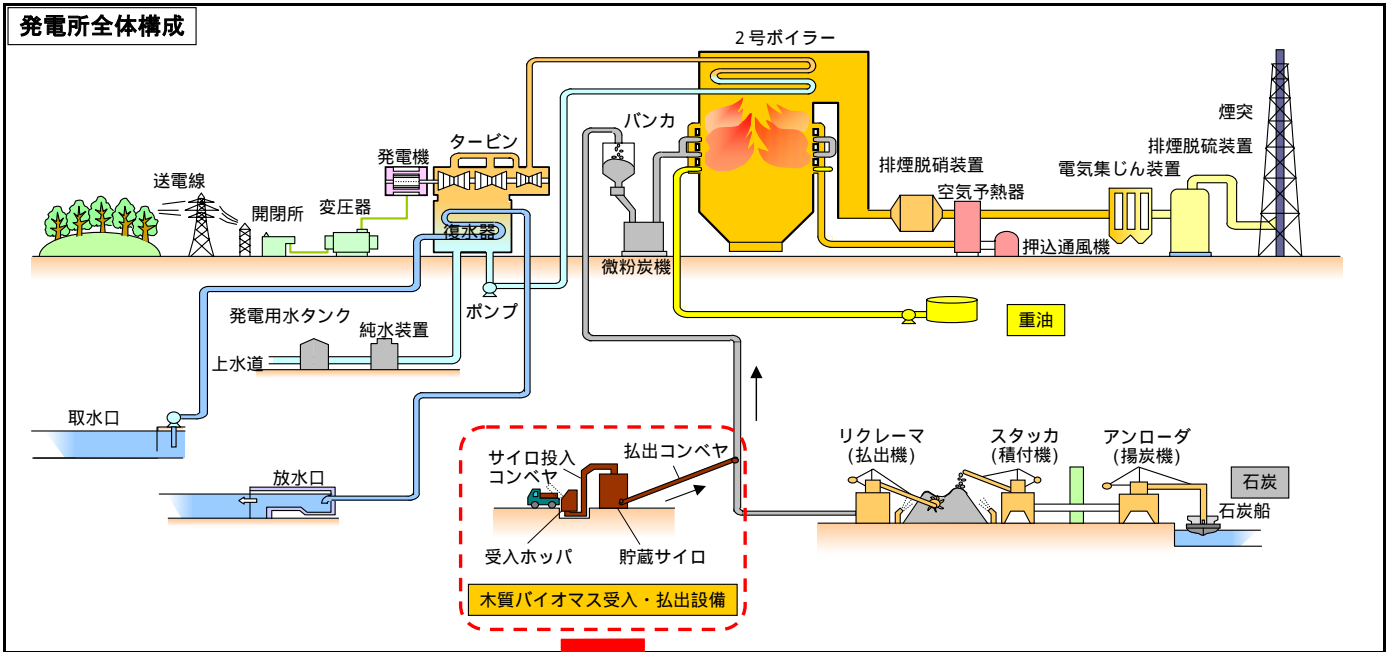
別紙：七尾大田火力発電所 木質バイオマス混焼設備概要

以上

\* 木質バイオマス；「バイオマス」とは、「再生可能な生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)」のこと。木質バイオマスには、主に樹木の伐採や造材のときに発生した枝・葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮や木屑などの種類があります。

七尾大田火力発電所 木質バイオマス混焼設備概要

木質バイオマス燃料として受け入れ、運炭コンベア上で石炭と混合し、微粉炭機で石炭とともに粉碎のうえ、バーナで燃焼します。



(参考1) 七尾大田火力発電所の概要

	1号機	2号機
敷地面積	約51万㎡ (東京ドーム11個分)	
発電出力	50万kW	70万kW
営業運転開始	平成 7年3月	平成10年7月

(参考2) 木質バイオマス混焼設備建設 主要工程

- 基礎工事 : H21年7月～H22年1月
- 機器据付 : H22年2月～H22年5月
- 試運転調整 : H22年6月～H22年8月
- 運転開始 : H22年9月1日

**七尾大田火力発電所 木質バイオマス混焼設備(写真)**



**木質バイオマス受入・払出設備外観(バイオマス受入状況)**



**木質バイオマスと石炭との混合燃料の運搬状況**